



社会にフォーカス

Vol. 12

環境問題について調べる

2015 年3 月に仙台市で開かれた国連防災世界会議において、防災のための国際行動指針に、**地球温暖化によって災害の規模や頻度が深刻化している**と明記する方向で、参加国が一致しました。これは、世界各地で異常気象が頻発していることに対する世界各国の危機感を反映したものであるということです。

また、世界の科学者が参加する気候変動に関する政府間パネル（IPCC）は、2013年から14年にかけて公表した報告書で、**地球温暖化に伴い熱波や極端な豪雨、洪水などのリスクが高まると警告しています。**

さて、小学6年の社会科では「持続可能な社会」について学習します。教科書（『新しい社会6 政治・国際編』東京書籍）では、小項目「世界の未来と日本の役割」の頁で、世界の様々な環境問題の事例及び国連を中心とした環境問題への取組について紹介しています。

今回は、世界の環境問題について調べる際の留意点について紹介します。

ツバルの浸水は、地球温暖化だけが原因か？



教科書（『新しい社会6 政治・国際編』東京書籍）に、次の記載があります。

南太平洋にあるツバルは、標高が平均 1.5m しかない島国です。この国は今、**地球温暖化による海面の上昇で、国全体が将来的に海にしずむおそれがある**といわれています。（下線は筆者）

ツバルは、現在、地球温暖化の影響から水没が懸念される国として、注目を集めています。しかし、外務省のサイト「わかる！国際情勢」では、「水没が懸念される国々～ツバルを通して見る太平洋島嶼国」と題したページで、外務省の太平洋島嶼国支援検討委員会の座長（当時）を務める大阪学院大学の小林泉教授による次の見解を紹介しています。

小林泉教授によれば、ツバルの海岸浸食、浸水の原因は、海面上昇だけではないといいます。同教授は、その原因を

- (1) 第二次大戦中、アメリカ軍の飛行場建設の際に土砂を掘り起こしてできたくぼみからの湧水
- (2) より良い生活を求めて首都に人口が集中し、今まで人が住んでいなかった低い土地にも人が住むようになったこと（結果として満潮時や高潮によって家屋が浸水）
- (3) 生活排水による汚染（この地域の海岸の砂は、いわゆる「星の砂」と呼ばれる有孔虫の死骸などでできていて、水質悪化によって有孔虫＝砂が激減します）

などが主要な原因であるとの見解を示しています。

この見解から分かることは、**ツバルの浸水の原因は一つだけではない**ということです。ですから、子どもたちに「地球温暖化による影響で海にしずむおそれがあるツバル」とのみ短絡的に指導しないよう留意する必要があります。



世界の環境問題の原因には、**地球温暖化のような「グローバルな原因」**と人口集中等の**「ローカルな原因」**が複合的に関係している場合があります。